



①



②



③

2 いわき市復興のあゆみ (写真・年表)

【平成23(2011)年3月～平成27(2015)年1月】

平成23(2011)年

- | | |
|----|---|
| 3月 | <p>11日 ■東日本大震災（東北地方太平洋沖地震〔午後2時46分、マグニチュード9.0、震度6弱〕）が発生
■「いわき市災害対策本部」を設置
■市海岸部に大津波が襲来（午後3時40分前後）①</p> <p>12日 ■福島第一原子力発電所で水素爆発が発生（16日にかけて重大事故発生）②
■「支援物資集配センター」の開設を決定。市内避難所に対して、支援物資などを配送（～8月20日）</p> <p>13日 ■市独自の判断で、久之浜・大久地区住民に自主避難を要請
■市総合保健福祉センターで放射線スクリーニングを開始</p> <p>15日 ■市独自の判断で、小川および川前地区の一部住民に自主避難を要請
■政府から、福島第一原子力発電所の半径20～30km圏内住民の屋内退避指示が発令（久之浜町大久町、小川町、川前町の一部が対象区域に設定）</p> <p>16日 ■「いわき市災害救援ボランティアセンター」を開設</p> <p>18日 ■妊婦・40歳未満の方に、安定ヨウ素剤の配布を開始 ③</p> <p>21日 ■常磐自動車道いわき中央IC－水戸ICの一般車両通行止めが解除（物流が徐々に再開）</p> <p>25日 ■政府から、福島第一原子力発電所の半径20～30km圏内住民の自主避難が促される</p> <p>30日 ■家庭から出た災害ごみの受け入れを開始（～平24.3.31）</p> |
| 4月 | <p>4日 ■市はごみ収集を全面再開
■市はり災証明書の発行を開始（～平24.9.28）</p> <p>6日 ■市は敷地内流出ガレキの撤去を開始（～7月末）</p> <p>11日 ■市南西部を震源とする震度6弱（マグニチュード7.0）の地震が発生</p> <p>12日 ■市外近隣地を震源とする震度6弱（マグニチュード6.4）の地震が発生
■市は「がんばっぺ！いわき オール日本キャラバン」をこの日の東京都港区開催を皮切りに全国で展開</p> <p>16日 ■市は一時提供住宅（民間借上げ住宅など）提供を開始</p> <p>20日 ■津波や地すべりの被災地区を除き、市内水道がほぼ復旧</p> <p>22日 ■福島第一原子力発電所の半径20～30km圏内住民の屋内退避指示が解除（市内全域が国で定める原発関連の規制区域外へ）</p> <p>25日 ■市は市内全小・中学校へパン・牛乳の提供を開始</p> <p>28日 ■JR常磐線の特急列車いわき駅－上野駅の運転が再開</p> |
| 5月 | <p>2日 ■市内全小・中学校へパン・牛乳副食物による簡易給食の提供を開始</p> <p>31日 ■小名浜港が「石炭」分野において、国際バルク戦略港湾として選定</p> |
| 6月 | <p>1日 ■「いわき市東日本大震災復興本部」を設置</p> |
| 7月 | <p>5日 ■市独自に「市長が定める自主避難区域」を設定（川前町の一部）</p> |



④



⑤



⑥

- 8月 1日 ■いわき市長と双葉郡8町村長との意見交換会を開催
 12日 ■「原発避難者特例法」が施行され、いわき市ほか12町村が指定
 20日 ■市内のすべての避難所が閉鎖
- 9月 3日 ■久之浜地区に仮設店舗の「浜風商店街」がオープン
 30日 ■「いわき市復興ビジョン」を策定
- 10月 1日 ■21世紀の森公園で「がんばっぺ！いわき大復興祭」を開催④
 18日 ■「いわき市復旧計画」を策定
- 12月 21日 ■「いわき市除染実施計画」を策定
 26日 ■「いわき市復興事業計画」(一次)を発表

平成24(2012)年

- 1月 1日 ■市は危機管理室および原子力災害対策課、保健所内に放射線健康管理センターをそれぞれ新設
- 2月 12日 ■「復興記念 第3回いわきサンシャインマラソン」を開催
- 3月 11日 ■「3.11いわき追悼の祈りと復興の誓い 2012」を開催。市内各地においても追悼式などが開催
- 5月 28日 ■市は内部被ばく検査に、ホールボディカウンターを導入
- 6月 7日 ■復興特別区域法に基づく「市復興整備協議会」が設立
- 8月 28日 ■いわき市長が町外コミュニティについて双葉郡4町長と意見交換
- 10月 29日 ■災害公営住宅の建設に着手(常磐関船町で起工式)
- 11月 7日 ■久之浜町で海岸災害復旧の合同起工式が開催
 14日 ■小名浜港大剣埠頭コンテナターミナルのガントリークレーンが稼働再開⑤
- 12月 19日 ■いわき市屋内遊び場「いわきっず もりもり」が「ほるる」内に、「同ふるふる」が南部アリーナにそれぞれ開設(平成25年3月には、海竜の里センターに「るるん」)
 26日 ■「いわき市復興事業計画」(二次)を発表

平成25(2013)年

- 1月 9日 ■平北部学校給食共同調理場が再稼働(4月15日には四倉が再稼働)
- 2月 10日 ■「復興元年 第4回いわきサンシャインマラソン大会」を開催
- 3月 10日 ■「3.11いわき追悼の祈りと復興の誓い 2013」を開催。市内各地においても追悼式などが開催(～11日)
 13日 ■「いわき市地域防災計画(原子力災害対策編・暫定版)および原子力災害避難計画(暫定版)」を策定
 27日 ■久之浜町末続および同金ヶ沢の両地区で、防災集団移転促進事業に伴う移転先の合同起工式が開催
 29日 ■「いわき市除染実施計画」(改訂版)を策定
- 6月 10日 ■市内初となる防災集団移転促進事業による移転先引き渡し手続きが錦町須賀で開始⑥
 19日 ■小名浜港外貿定期コンテナ航路(韓国・中国)の寄港再開
- 7月 13日 ■福島洋上風力実証研究事業の開始式が小名浜港で開催
 21日 ■「ふくしま復興祭」が21世紀の森公園で開催(～22日)



- | | | |
|-----|-----|--|
| 7月 | 22日 | ■2013年プロ野球オールスターゲーム第3戦がいわきグリーンスタジアムで開催⑦ |
| 8月 | 12日 | ■双葉・いわき方部の市町村長と県知事の震災後初めての意見交換会が開催 |
| | 29日 | ■小名浜港背後地震災復興土地区画整理事業に係る鉄道貨物ターミナル移転に向けた覚書調印式 |
| | 31日 | ■市総合防災訓練が市内で実施 |
| 10月 | 18日 | ■市漁業協同組合などが、原子力発電所の汚染水問題で延期していた底引き網漁の試験操業を開始 |
| | 19日 | ■小名浜魚市場(小名浜港1号ふ頭)と関連施設(1号ふ頭および小名浜字栄町地内)の建設をめざし、安全祈願祭を挙げる |
| | 22日 | ■市災害公営住宅の受け付けを開始(～12月24日) |
| | 26日 | ■第7回太平洋・島サミットのいわき市開催が決定 |
| | 31日 | ■全国初、震災ガレキを使用した夏井海岸(平下大越)の海岸堤防(高さ7.2m、延長920m)が完成⑧ |
| 11月 | 11日 | ■浮体式洋上風力発電所「ふくしま未来」および変電所「ふくしま絆」が実証研究事業として稼働、「いわき・ら・ら・ミュウ」で運転開始式を開催⑨ |
| | 24日 | ■岩間・小浜地区合同で、市内初の市震災復興土地区画整理事業の安全祈願祭を挙げる(12/11=久之浜、12/15=豊間・薄磯、12/18=小名浜港背後地、においてそれぞれ挙げる) |
| | 30日 | ■被災した市立集会所が完成(永崎など5地区で鍵引き渡し式) |
| 12月 | 19日 | ■小名浜港が「特定貨物輸入拠点港湾(石炭)」に指定 |

平成26(2014)年

- | | | |
|----|-----|---|
| 1月 | 14日 | ■市は宇部市と「災害時相互応援協定」を締結 |
| | 23日 | ■市はNPO法人コメリ災害対策センターと「災害時における物資供給に関する協定」を締結 |
| | 30日 | ■四倉町下仁井田地区で市内初の農山漁村地域復興基盤総合整備事業が開始 |
| 2月 | 5日 | ■市は東邦銀行と「包括連携協定」を締結 |
| | 6日 | ■市は磐城林業協同組合と「災害時の応急給水に関する応援協定」を締結 |
| | 10日 | ■市は「大規模災害発生時における福祉避難所の設置・運営、福祉機器等の供給協力および人材派遣にかかる協定」を締結(福島県老人保健施設協会いわき連絡協議会ほか4団体) |
| | 22日 | ■塩屋埼灯台復旧完成記念式典が開催 |
| 3月 | 1日 | ■市災害公営住宅「関船団地」の入居開始(常磐関船町で鍵引き渡し式) |
| | 4日 | ■「いわき市復興事業計画」(三次)を発表 |
| | 9日 | ■「3.11いわき追悼の祈りと復興の誓い 2014」を開催。市内各地で追悼式などが開催(～11日) |
| | 26日 | ■市は市測量設計業協会と「災害時における被害状況調査の支援に関する協定」を締結 |
| | 28日 | ■市災害公営住宅「沼ノ内団地」の入居開始(平沼ノ内で鍵引き渡し式) |
| 4月 | 8日 | ■津波で被災した市小名浜消防署江名分遣所が落成 |
| | 14日 | ■市は「ほ場整備事業(復興基盤総合整備事業)」の「錦・関田地区」安全祈願祭と起工式を挙げる |
| | 17日 | ■市はイオンモール株式会社と小名浜港背後地における都市センターゾーンの開発について、「開発事業の実施に関する基本協定」を締結 |
| | | ■市は東日本大震災による地滑りで常磐西郷町忠多団地に発令していた避難勧告を解除 |
| | 24日 | ■いわき国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想研究会が発足 |
| 5月 | 9日 | ■いわき沖の試験操業で水揚げされた魚介類が原発事故後初めて築地市場に出荷 |
| | 13日 | ■プロ野球公式戦「巨人対ヤクルト」がいわきグリーンスタジアムで開催 |



- 5月 28日 ■カタールフレンド基金を活用し、市体験型経済教育施設「E l e m(エリム)」を開設(平字堂根町)⑩
30日 ■復興庁は「がんばれ復興まちづくり！トッランナー」の10事例で久之浜町の取り組みを選定
- 6月 19日 ■再生エネルギーの普及・拡大などのため、「市太陽光発電に係る公共施設の屋根等の使用料に関する条例」を制定
21日 ■被災者支援となる映画「超高速！参勤交代」が封切り(ブルーリボン賞作品賞)
27日 ■市災害公営住宅「四倉団地」の入居開始(四倉町で鍵引き渡し式)
30日 ■市は双葉郡8町村と共同で、復興を支える医療の充実のため早期の医師確保対策の構築などについて、首相官邸や復興庁などに要望⑪
- 8月 7日 ■市は県、久之浜・大久地区復興対策協議会と協議してきた「久之浜・大久地区復興ランドデザイン」を発表
■市復興祈願土俵入りを開催
8日 ■国土交通省から、常磐自動車道「(仮称)いわき小名浜インタチェンジ」(山田町長沢地内)における接続道路(小名浜道路)の連結許可
28日 ■ふくしま復興再生道路として事業を進める小名浜道路の中心杭設置式が、泉町黒須野地内で開催
29日 ■市は市内各地で市総合防災訓練を実施。平地区では初の避難所運営訓練(～30日)
- 9月 1日 ■災害ごみの仮置場となっていた市仁井田運動場が再開
15日 ■東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い交通規制区間となっていた国道6号の双葉町一富岡町区間(約14km)が規制解除(自動車のみ)され、全面開通
16日 ■市は小川地区で原子力災害に備えた図上訓練を実施(断続的に11月25日まで)
25日 ■市は久之浜・大久地区で原子力災害に備えた図上訓練を実施(断続的に11月17日まで)
- 10月 1日 ■「いわき市除染実施計画」(第3版)を発表
27日 ■市は旅行商品販売促進支援事業「幸せを運ぶ秋冬クーポンキャンペーン最大10,000円割引！」を開始(～3/31)
28日 ■市は最大規模の津波による浸水域を示した、市独自の津波ハザードマップを公表
- 11月 4日 ■「いわき市復興事業計画」(四次)を策定
- 12月 1日 ■災害ごみの仮置場となっていた勿来市民運動場が再開
2日 ■市は市内産の米を使った学校給食を開始
17日 ■市防災集団移転促進事業による造成工事が、久之浜町末続、金ヶ沢で完了(12/25には江名字走出)
20日 ■豊間地区に仮設店舗の復興商店「とよマルシェ」がプレオープン(本オープンは平成27年1月15日)⑫
25日 ■市災害公営住宅「勿来四沢団地一号楼」の入居開始(勿来町で鍵引き渡し式)

平成27(2015)年

- 1月 6日 ■一般財団法人「チームスマイル」といわき市、いわき商工会議所の三者による基本協定締結式を挙行
9日 ■市災害公営住宅「勿来関田団地」の入居開始(勿来町で鍵引き渡し式)
17日 ■市は農作物の魅力情報を発信する野菜大使「いわき野菜アンバサダー」認定セミナーを開催
23日 ■移転した福島臨海鉄道(株)の新小名浜駅で、コンテナ列車の出発式
31日 ■久之浜・大久地区で市原子力防災実動訓練を実施

【例言】 1 図、写真などの表示番号については、たとえば「1」の最初の図は、「図1-1」というように表記する。
2 年号については、各項目の初出の部分について和暦・西暦を表記し、その後は和暦のみを表記する。
3 本書に掲載している市撮影以外の写真については許可されたものであり、無断による転載を禁止する。
4 特段の記述がない場合は、平成26(2014)年12月末現在の状況とする。